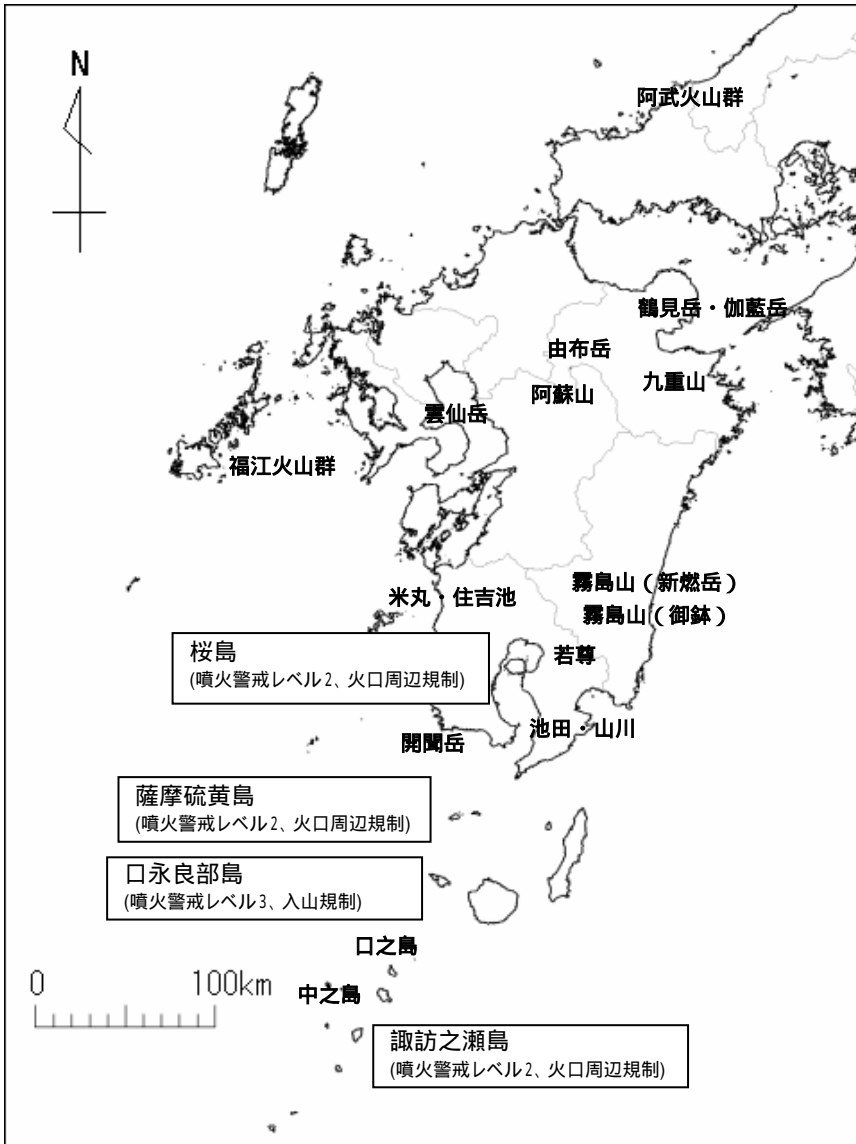


管内月間火山概況 (平成 20 年 10 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況 (10月31日現在)

- 火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制) : 口永良部島
- 火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制) : 桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
- 噴火予報 (噴火警戒レベル1、平常) : 九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山 (新燃岳)、霧島山 (御鉢)
- 噴火予報 (平常) : 阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開闢岳、口之島、中之島



凡例
 : 噴火警報発表中の火山 : その他の火山

噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況(平成 20 年 11 月分)は平成 20 年 12 月 5 日に発表予定です。

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、大分県、阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ(標高)」を使用しています(承認番号:平 17 総使、第 503 号)。

各火山の活動状況及び予報警報事項

口永良部島では、27 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 3（入山規制）に引き上げました。

霧島山（新燃岳）では、29 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引き下げました。

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では噴気や火山ガスの噴出が見られることから、火口内及びその付近では火山灰の噴出等に警戒が必要です。また、火口周辺では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

霧島山（新燃岳） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）] 10 月 29 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引き下げ

噴火の発生はなく火山性地震や火山性微動も少なくなり、噴煙量も次第に減少しました。

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

火口内及び西側斜面では引き続き噴気がみられており、火口内に影響する程度の噴出現象が発生する可能性がありますので、火山灰の噴出等に警戒が必要です。

霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

南岳山頂火口では 3 日に噴火が 1 回発生しました。昭和火口では噴火は発生しませんでした。

火山性地震及び火山性微動は少ない状態が続いています。

今後、昭和火口及び南岳山頂火口の周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）、降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

なお、長期的にみると昭和火口の噴火活動は 2006 年 6 月の噴火以降、次第に活発化している傾向がみられます。今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

噴煙活動はやや活発で、火山性地震回数はやや多い状態が続いています。

今後、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では噴火に対する警戒が必要です。

口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）] 10 月 27 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 3（入山規制）に引き上げ

GPS による地殻変動観測では、9 月以降、新岳火口浅部の膨張を示す変化が観測されています。また、噴気や火山ガスの放出量が増加するなど火山活動はさらに高まっています。

今後、新岳火口周辺に影響を及ぼす噴火の発生が予想されますので、火口から概ね 2 km の範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

爆発的噴火は 68 回発生し、小規模な噴火も時々発生しました。諏訪之瀬島ではこれまでも長期

にわたり噴火を繰り返しています。

今後、御岳^{みたけ}火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 k m の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められず、予報警報事項に変更はありません。